

プレコンgresワークショップ4	
タイトル	慢性疼痛に対する対応能力向上講座～認知行動療法的アプローチを中心に～
日時	6月12日(金) 15:30-17:30
企画責任者	金井 貴夫 (公募企画)
定員	40名
開催の目的・概要	
<p><b>【開催の目的】</b> 本セッションは、慢性疼痛を有する患者に対し、疼痛に対して理解し、より適切な治療・ケア・対応ができるようになることを目的とする。</p> <p><b>【概要】</b> 慢性疼痛を有する患者は、内科一般外来や救急外来に多く受診しているが、これらの患者に関する治療法は確立していないさらに、これらの患者が行う受療行動によって、医療経済的に大きな損失が生じている。 一方、疼痛の発生機序や治療に関する研究は近年急速に進歩している。疼痛の発生機序を利用した認知行動療法の有効性が示されている。 本ワークショップでは、一般的に臨床医が苦手としている慢性疼痛に関して、まず、疼痛のメカニズムについて機能性脳画像などの最新の知見から学ぶ。そして、グループワークにて、各人が体験した慢性疼痛の患者について、どうやって対処したか、どう対処すればよかったかなどを話し合う。より上手に対応できる可能性として、認知行動療法と操体法を中心に治療・対応方法を紹介する。さらに、認知再構成法をグループワーク形式で実習し、認知行動療法の基本的構造を理解する。 本ワークショップ受講により、認知行動療法を慢性疼痛のみならず、うつ病や不安障害、生活習慣病、禁煙外来、アルコール教育、睡眠障害などへ応用するヒントも得られるであろう。</p>	